

MUSASHINO MUNICIPAL ASSEMBLY

# 武蔵野市議会だより

No.322

発行日 平成19年(2007年)4月30日

発行 武蔵野市議会  
東京都武蔵野市緑町2-2-28  
TEL 0422-60-1883(直)  
FAX 0422-55-7555

CONTENTS

- 施政方針・代表質問 .....2-3面
- 予算特別委員会審査概要 .....4-5面
- 一般質問 .....6-7面
- 2特別委員会最終報告 .....7面
- 「議会改革」検討結果について .....7面
- 議案の審議結果一覧 .....8面
- 政府等への意見書、決議 .....8面
- 陳情審議結果 .....8面
- 市政調査研究費 .....8面
- インターネット議会中継 .....8面

## 第一回 市議会定例会

二月二十三日から開かれた第一回定例会は、三月二十七日に閉会しました。今議会では、市長による平成十九年度施政方針演説と、これに対する七人の会派代表質問、十三人の議員による一般質問が行われるなど、活発な議論が交わされました。また、平成十九年度武蔵野市一般会計予算を初め、計三十六件の市長提出議案、四件の議員提出議案の審議・議決が行われました。

### 平成十九年度予算が成立 市民とともに新たな未来に向かって踏み出す予算 一般会計は五百六十九億円

一般会計五百六十九億円を中心とする平成十九年度の各会計予算が、三月二十七日の本会議で可決・成立しました。これによって市政運営の大枠が確定し、各種事業が実施されることとなります(三面に施政方針、二・三面に

代表質問、四・五面に予算特別委員会審査概要及び討論を掲載)。

平成十九年度一般会計予算から、下水道事業会計・国民健康保険事業会計・老人保健(医療)会計・介護保険事業会計の四特別会計予算、水道事業会

計予算(企業会計)までの各予算案については十四名の委員からなる予算特別委員会(三月一日に設置)に付託されました。十三日開会の同委員会で正副委員長が互選され、続く十四日から実質五日間にわたって審査されました。二十七日の本会議では、島崎義司予算特別委員長より委員会における審査の概要について報告があり、その後、報告に対する質疑、討論が行われ、個別採決の結果、一般会計・下水道事業会計・老人保健(医療)会計・水道事業会計予算は全会一致で、国民健康保険事業会計・介護保険事業会計予算は賛成多数で可決されました。

### 国民健康保険税の 激変緩和措置を 可決

三月十三日の本会議で、「武蔵野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例」が可決されました。

本条例案は、税制改正による住民税のフラット化に伴う、国民健康保険税の負担増に対し、激変緩和措置を講ずるものです。現在、国民健康保険税は、市民税所得割額に百分の百九十五を乗じて算定していますが、平成十九、二十年度に限り、百分の百七十五に、二十一年度は百分の百八十五にするものです。これによる国民健康保険事業会計への影響額は、平成十九、二十年度で各二億二千六百万円、二十一年度で一億千百万円の減収となります。

本案は三月七日の厚生委員会の審査を経て、十三日の本会議において全会一致で可決されました。

## Photo Gallery

フォトギャラリー



●市議会だよりは、市民のみなさんからの公募写真を1面に掲載しています。次回の応募要領については、8面をごらんください。



# ただ 施政方針を質す

## 代表質問

第1回定例会2日目の2月27日、市長の施政方針に対して、7名の会派代表者による代表質問が行われました。以下はその要旨です。

「施政方針」は武蔵野市役所のホームページ (<http://www.city.musashino.lg.jp/cms/guide/menu/m0469.html>) でご覧いただけます。また、市役所の市政資料コーナー、各市政センター、各コミュニティセンターで配布しています。

田中節男議員 ●自由民主党クラブ

### 調整計画市民会議のあり方は真の市民参加といえるのか



Setsuo Tanaka

**問** 第四期長期計画調整計画市民会議について①子ども・教育分野のある委員が、他人のテーマを盗用した論文を大学内の機関誌に寄稿して問題となった経緯が新聞で報じられたが、市長はこの委員に市民会議委員を辞任するよう求めた

**答** ①詳細を把握していないが、辞任するかどうかは本人が判断すべきことと考える②市民会議の総意ではなく、有志による提言であるため、専門家会議でも一つの意見として扱っていただいている。  
**問** なぜ二十年以上前に発行された「子どもとおとなの日

の②緑・環境・市民生活分野市民会議委員の十六名が、市民会議の議決や第四期基本構想を無視する内容の提言を武蔵野市レイス(仮称)専門家会議に提出したが、このようなことが真の市民参加であると考えられるか。  
**答** 市民、行政、議会の役割等を定め、市民の参加のあり方を掲げた内容にした。  
**問** 市長が目指すまちづくり条例で、法政第一中・高等学校校跡地のような問題を未然に防ぐことができるか。  
**答** 土地取引の情報を事前に提供してもらう仕組みを定めることなどにより、地域の声を聞きながらの事業計画がなされる効果がある。

このほか、団塊世代対策、コミュニティセンターの増設、境浄水場敷地内の商業ビル建設等についての質問がありました。

与座武議員 ●市議会市民クラブ

### 「災害弱者救済が防災の要」の視点での地域防災計画の改定を



Takeshi Yoza

**問** 平成十九年度は、東京都の地域防災計画の修正に伴い、武蔵野市地域防災計画を实效性の高い現実的なものに改定する必要があるが、市民の生命・財産を守る視点から、市政の骨格をなす非常に重要な計画である。高齢者や障害者、乳幼児を持つ母親、外国人等、

災害弱者救済が防災の要と考えるが、どのような改定を予定しているのか。  
**答** 現行の計画は、平成十二年に修正したもので、この間に進められてきた地域の防災の取り組みも計画の中で位置づけられていない。このため、現状の社会環境を反映するよう改定する予定であり、帰宅困難者、避難所のトイレ、多くの家庭で飼われているペットの問題等について、具体的な対応策を示していきたい。  
**問** これまで質の高い行政サービスが展開できたのは議会と行政が一致団結して、市民の

声に耳を傾け、高い目標を掲げて取り組んだ結果と考えるが、施政方針からはそうした思いが伝わってこない。市長の見解を伺う。  
**答** ご指摘のとおり、市民、議会、行政がともに構築してきた結果と考える。今後とも、市民の声を聞き、地域の課題を踏まえた新たな施策を進め、市民要望をかなえていきたい。

**問** 福祉都市武蔵野にふさわしい、きめ細かな福祉施策を実施する必要があるが、具体的にはどのようなことか。  
**答** 制度改革が進む中で、制度のすき間で漏れてしまうことのないよう、個々に応じてきめ細かく対応できるように施策に取り組みしていきたいことだ。  
このほか、子どもの国語力、市民参加、平和施策等についての質問がありました。

砂川なおみ議員 ●民主・市民ネット

### 武蔵野レイス(仮称)管理を機能別にできないか



Naomi Sunagawa

**問** 武蔵野レイス(仮称)の中心となっている図書館機能を現時点のポリシームから考察すると、ソフト構築の面から指定管理者制度の導入には無理があると考える。図書館部分と複合施設は分けて管理すべきではないか。

**答** 当施設は図書館法に基づ

く図書館であり一体的な管理が大前提だが、多様な施設構成があるので、スムーズな運営ができるようシステムを検討していきたい。  
**問** 施政方針によれば、抜本的な浸水対策を含めた下水道総合計画を平成二十年度までに作成とある。都市のインフラや公共施設等、都市基盤の再整備は重要な課題だが、これらを一気に実施した場合、どの程度の費用がかかるのか。  
**答** 大まかな金額だが、下水道全体の再構築となると四百億円、水道で三百億円、クリーンセンターについては建設当

時の費用六十数億円に撤去費用などを加えた額が必要になると考える。

**問** まちづくり条例や景観条例があれば、高層マンション建設計画について、現在のようないかな問題は起こらなかったのではないかと考えるが所見は。  
**答** まちづくり条例については、土地取引の段階から情報を地域に提供し、同時に地域要望が早く伝わるような仕組みを考えている。若干なりともそうした問題は解決に向かうだろう。景観条例は景観的な視点からルール化をすることで、景観地区を定めることで高さ制限ができる。このほか、市民参加の仕組み、小・中学生の学び保障、観光マップづくり、戦争の記憶の継承、平和資料の収集等についての質問がありました。

本間まさよ議員 ●日本共産党武蔵野市議団

### 子ども医療費の無料化の実施を



Masayo Homma

**問** いわゆる子ども医療費助成の拡大に向けて、都に對し、全額助成するよう要望すべきと考えるが、いかがか。都が全額助成しなくとも、本市独自に全額助成し、子ども医療費の無料化を実施すべきと考えるが、市長の見解を伺う。

**答** 都の制度である、義務教育就学児医療費助成制度は、小学校一年生から中学校三年生までの子どもの医療費の三割のうち、一割を都と市で負担するもので、一定の所得制限がある。本市として、所得制限を撤廃するのか、一割助成を上げられるのか研究し、六月までに案を作成したい。  
**問** 「子どもとおとなの日本国憲法」が復刻されることになり、市制施行六十周年記念事業の中で、中島飛行機製作所の記録保存事業が予算計上された。毎年の平和行事として、

継続することを望むが、市長の見解を伺う。  
**答** 歴史を語り継ぐ事業は、今後も継続的な事業として実施していきたい。  
**問** 中学校給食の実施に向けたスケジュールについて伺う。  
**答** 現在教育委員会で議論いただいております。これを踏まえて、実施に向けた検討を来年度に進めていきたい。  
**問** 介護保険利用者に対するヘルパー派遣の利用料減免制度が拡大されたことについて、対象者数、対象要件を伺う。  
**答** 対象者数は七百人程度だ。要件は住民税非課税世帯で所得制限がある。また、従来必要であった預貯金の証明は不要である。  
このほか、基金、学校・水道・下水道施設の改修計画、クリーンセンターの建てかえ、職員定数削減、少人数学級について等の質問がありました。

小林清章議員 ●市議会公明党

### 小中学生の医療費軽減の拡大を



Kiyooki Kobayashi

**問** 義務教育就学児医療費助成制度について、都の平成十九年度予算案に盛り込まれたが、市としてさらに軽減する考えはあるか。

**答** 十月スタートを目途に、都の制度を基本とし、さらに市としてどこまで軽減できるか検討したい。

**問** 第二のインフラ整備の時代に、公共施設等の維持更新には財政的裏づけが必要となるがいかか。特に、水道部施設は建てかえ時期になるが解決策は。

**答** 財政計画と連動した整備計画を策定する。特に水道部施設は早急に対応策を検討するべきと考えている。

**問** 圧倒的に多いと思われる市政に参加しない市民の多様な意見をどのように受け止め、施策に反映していくのか。

**答** 市民と市長のタウンミー

ティングなど、だれもが意見を言える場をつくるのが重要と考えている。職員にも地域に出て市民の声を聞くように言っている。

**問** 吉祥寺の荷さばきをスムーズに行うための実証実験が行われているが、実験が終われば元の状態になると思われる。これを根づかせていく考えは。

**答** 今回の実験で課題を見つけ出し、実現化に向かいたい。

**問** ベテラン職員の大量退職に伴い、その蓄積されたノウハウ、経験をどのように継承していく考えかを伺う。

**答** 経験豊富な職員の退職の影響を大変心配しているが、場合によっては、定年後も何らかの形で市政運営に協力いただきたいと考えている。

**問** このほか、国民健康保険、中学校給食、吉祥寺東町の地区計画等についての質問がありました。

三宅英子議員 ●むさしのリニューアール

### 三地区の建設計画を初め、市民との協働の新たな仕組み・取り組みを



Eiko Miyake

**問** 吉祥寺東地区、三鷹地区、武蔵野地区の三地区で市民を巻き込む建設問題が起きている。これらの解決に市民との協働により積極的に取り組む姿勢を示すべきではないか。

**答** 吉祥寺東町の法政跡地、三鷹駅北口のツインタワー問題については、各地域の方に

**問** 市の方針を十分に説明している。武蔵野の農水省跡地は、今後、市の見直し案を定め、市議会を経て実施設計に取り組む。

**問** 「事務事業・補助金見直し検討委員会」から出た資料によると、市役所内部の事業スリム化の意識は極めて低い。このような状況をどのように打破する考えか。

**答** 各担当者の自己評価のみで事務事業等を見直すのではなく、シンクタンク等、第三者の視点も交え議論いただく予定である。

**問** 市民との協働を進めるた

めに、政策過程の透明性を高め、情報公開を市政全体の仕組みの中に位置づけていくことが重要と考えるがいかか。

**答** 情報公開と市民参加は車の両輪であると認識している。これまでの情報提供のあり方の問題点を考慮し、議論の経過報告も含め、わかりやすく情報を提供していきたい。

**問** 平成十九年度は三位一体改革の影響で八億円の大幅な税収減が見込まれる。今後の基金運営、財政運営の基本姿勢について伺う。

**答** 将来的な財政需要に備えるため、特に公共施設・学校施設の再整備等の基金の積み立てが必要であると考えている。

このほか、今後の市民との協働のあり方について、市民会議における市民意見について等の質問がありました。

きくち太郎議員 ●自由民主クラブ

### 新しい教育基本法への姿勢を問う



Taro Kikuchi

**問** 昨年十二月に新しい教育基本法が施行されたが、新しく付け加えられた目標を達成

**問** 昨年十二月に新しい教育基本法が施行されたが、新しく付け加えられた目標を達成

**答** さまざまな要因が重なって平和を維持してきたと考えられる。日米安保も一定の役割を果たしたが、憲法第九条も大きな貢献をしてきたと考える。

**問** 少子化対策について、施策が不十分と考えるが、今後どこまで本気で取り組むのか。

**答** 高齢者福祉以上に大きな課題と考える。子育て支援施策の充実により、子育てをしたいと思う市民をふやしたい。

**問** これからの時代を考え、民間でできる行政サービスは、市長の強いリーダーシップで民間活力を導入すべきと考えるが、市長の姿勢を伺う。

**答** 行政サービスの質を落とさないのが前提であるが、可能なものについては大いに民間の力を借りていくべきだ。

**問** 中学校給食は弁当選択制がよいと考えているのか。その場合、民間業者の委託や公設民営等、実施の方法をどのように考えているのか。

**答** 弁当を支持する家庭もあるため、選択制の給食がよいと考える。運営方法は中学校給食検討委員会での議論の結果を待ちたい。

**問** このほか、水害対策、農地の購入、コミュニティセンターの建てかえ、市営住宅等についての質問がありました。

### 市長の施政方針

## 誰もが安心して暮らせる市民の笑顔があふれる魅力あるまちを目指して

【市長が2月23日の本会議で行った「施政方針※」の要旨です】

邑上守正市長 Morimasa Murakami



#### 武蔵野市の現状と課題

武蔵野市は、今年市制施行60周年を迎え、これまで築き上げてきた伝統と誇りを受け継ぎ、新たな未来へとつなげるまちづくりが求められている。少子高齢化、社会保障制度の変革期、団塊世代の定年期において、健康で長生きできるための施策、子育て環境の整備、安全な市民生活の確保、団塊世代の受け皿づくり、福祉都市武蔵野にふさわしい施策を推進する必要がある。

#### 市政運営の基本方針

- ① 市民参加から新たな市民協働へ  
一昨年の市長就任以来、「市民が主役」の市政を目指して市民参加を進めてきたが、さらに市民からの意見を施策や計画に反映させ、市民との協働のまちづくりに向けた取り組みを進める。
- ② 誰もが安心して暮らし続けることのできるまちへ  
きめ細かな福祉施策、地域の子育て支援の場の充実を図り、防災・安全センター(仮称)を拠点とした防災安全機能の強化を行うとともに、中学校給食の一部試行、知的創造拠点としての武蔵野プレイス(仮称)の整備を進める。
- ③ 都市の再生と持続可能な都市形成  
環境基本計画に沿って、市民・事業者が省エネなどに取り組めるよう支援を行うと同時に、地球温暖化を抑制する事業を実施する。また、公共施設等の維持更新計画を立案し、都市施設の再生に取り組む。
- ④ 活力あるまちづくりの時代に向けて  
武蔵野駅舎連続施設の建設に着手し、武蔵野地域の活性化に取り組むとともに、三鷹駅北口の大規模な

ビル開発では、総合設計制度を活用して、周辺環境への配慮とまちづくりへの協力を要請し、活力ある駅前地区の整備に取り組む。また、吉祥寺では、ランドデザイン委員会で示された将来像の実現を目指す。

- さらに、まちづくり条例の制定を目指す。
- ⑤ 健全な行財政運営と市民サービスの充実  
事務事業・補助金、職員定数・給与の見直し、各種証明書自動交付機設置の検討等、市役所のスリム化と市民サービスの向上に取り組む。

#### 主要な施策

- ① 地域での暮らしを支える福祉の充実(高齢者の健康づくり支援、地域療育推進事業等)
- ② 子育てしやすい環境の充実(産前・産後支援ヘルパー試行事業の拡充、私立幼稚園入園料補助金の増額、特別支援教育の推進等)
- ③ 持続可能な環境共生都市づくり(校舎の壁面緑化、ごみ減量キャンペーン等)
- ④ 活力ある都市の再生(路線商業活性化支援、市内産農産物のPR等)
- ⑤ 安全・安心なまちづくり(防火水槽設置、ブルーキャップ活動時間の延長、分譲マンション耐震診断助成の拡充等)
- ⑥ 市民文化の創造(武蔵野の歴史展の開催、非核都市宣言25周年記念事業の実施等)
- ⑦ 新たなまちづくり(景観計画の検討、電線類地中化、バリアフリー化の推進等)
- ⑧ 都市のリニューアールの推進(下水道管・浄水場の調査、学校施設の耐震補強設計等)
- ⑨ 市民との協働に向けての取り組み(市民との協働スペースの設置、NPO法人補助制度の拡充等)
- ⑩ 健全な財政運営と市役所改革の推進(職員定数削減、財政援助出資団体の自律的経営に向けた改革推進等)

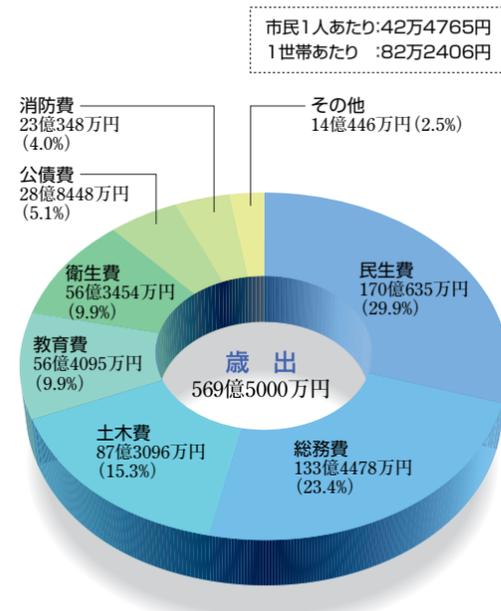
※「施政方針」:「平成19年度施政方針並びに基本的施策」は、武蔵野市役所のホームページ(<http://www.city.musashino.lg.jp/cms/guide/menu/m0469.html>)でご覧いただけます。また、市役所の市政資料コーナー、各市政センター、各コミュニティセンターで配布しています。

# 査 概 要

予算特別委員会は3月1日、委員14名からなる予算特別委員会を設置し、同月13日、正副委員長を選出しました。予算の審査は、3月14日から22日までの実質5日間で行われました。一般会計は、569億5000万円で、前年度比38億5000万円(7.3%)の増となり、これは、平成16年度を除き過去12年間で最高の伸び率となる積極型の予算となりました。歳入の根幹をなす市税収入は、法人市民税、個人市民税ともにふえることが予想され、前年度比3.0%増を見込んでいます。

今年度予算は、第四期長期計画の優先事業の着実な推進を図るとともに、新しい課題へ限られた財源を重点的に配分することを基本とし、「市民とともに新たな未来に向かって踏み出す予算」と位置付けられています。以下は各委員から予算執行と行政運営について、活発な議論が行われた予算特別委員会の審査概要です。

## 歳出予算の目的別内訳



### 主要な事業 (単位: 千円)

◇総務費	6,000
・武蔵野市民意識調査	350
・自治基本条例の調査研究	30,000
・市制施行60周年記念事業	14,043
・歴史資料館開設準備事業	99,671
・生活安全対策事業	14,002
・自動交付機の設置	2,200
・特定非営利活動法人補助金事業	6,802
・市民協働スペース(仮称)の管理運営	2,686,994
・農水省跡地利用施設建設事業	
◇民生費	1,087,250
・障害者自立支援給付事業	349,760
・社会福祉法人武蔵野関係事業	7,926
・地域教育推進事業	205,524
・認証保育所運営委託等	66,184
・公立保育園保育室空調設備設置工事	
◇衛生費	96,588
・ごみ減量と資源化の推進	1,300
・ごみ減量資源化推進事業者(仮称)認定表彰制度の創設	473,000
・クリーンセンター施設改修等工事	
◇農業費	2,318
・こうのとりベジタブル事業	
◇商工費	137,757
・路線商業活性化総合支援事業	12,200
・商工振興事業	
◇土木費	5,000
・雨水浸透施設助成金交付事業	4,900
・民間住宅耐震診断助成	2,000
・「都市の緑を守る」緊急フォーラム	30,000
・浸水対策道路事業(道路改修)	19,000
・吉祥寺駅南北自由通路整備計画	6,048
・吉祥寺方式による物流対策実施検討調査	8,000
・吉祥寺駅周辺地下利用検討調査	3,000
・無電柱化事業の検討	160,000
・武蔵野駅舎連続施設建設事業(第1期)	449,500
・市営西久保住宅建替事業	
◇消防費	58,275
・防災行政無線設備移設工事	47,000
・消防団第7分団詰所新築工事	
◇教育費	30,570
・学校改築計画の策定	26,847
・少人数指導及び学習支援教室等の推進	48,320
・教育相談事業	
・特別支援教育推進事業(専門家スタッフ・サポートスタッフ派遣事業)	6,379
・特別支援学級運営	88,062
・小中学生の音楽活動支援事業	780
・土曜学校事業	18,981
・図書館資料インターネット予約の充実	8,021
・ICシステムの導入	9,599
・中学校部活動の支援	1,680
・体育指導員関連事業の充実	690
・スポーツ振興計画策定に係る調査・分析委託	3,000
・中学校給食のあり方の検討	5,942
・学校緑化支援事業	7,000
・小中学校耐震補強設計	66,439
・小中学校グラウンド整備	112,573
・小学校図書室の冷房設備設置	43,300
・学校給食共同調理場耐震補強設計	8,168

## 市制施行六十周年記念事業 実施に際しての基本的考えは

**問** 市制施行六十周年記念事業の実施に際し、基本的考えを伺う。  
**答** 本市の六十年間の歩みを振り返るとともに、未来を担う子どもたちに視点を当てた事業としたい。

## 総括

**問** 市長・市役所交際費について、市長として公務で参加している会合の会費を私費で支出するのはおかしいのではないかと。公的機関の会合であれば、公費を支出している。その他の会合は、公務であっても、飲食が伴うものについては、私費で会費を支払うこととしている。  
**問** 職員適正化計画により、三カ年で百名近い職員を削減することだが、どの部署をどのよう削減していくのか。  
**答** 市役所のサービスを低下させないことを前提に、各部署で議論の上、職員を削減したい。  
**問** 平和施策についてどのよう考えているか。  
**答** 本市が経験した戦争の歴史やその後の歴史を市民や後世に語り継ぎ、保存していくと同時に、青少年を中心とした近隣諸国との交流など、今後の平和構築についても考えていきたい。

## 歳入

**問** 国・都の補助金獲得に努力を  
**答** 都補助金として区画道路事業費補助金が計上されているが、国からも補助金が出るのではないか。また、国・都からできる限り補助金の交付を受けるべきだと考えるがいかがか。  
**答** 当該事業は、東京都だけの補助対象事業であり、国からの補助金はない。これまで、制度再編等の機会をとらえ、積極的に補助金を獲得してきたが、今後も情報収集に努め、可能な限り補助金の獲得に努めたい。

## 民生費

**問** 保育園入所対策 早急な改善を  
**答** 二歳児までの保育園に入っていた乳児が三歳になると保育園に入れない状況が出てきている。改善が必要だと考えるが、所見は。  
**答** 都の認証保育所などでは卒園が三歳児の施設もあり、一定の基準で選考せざるを得ない。保育需要の動向を見きわめ、定数の弾力化等を検討していきたい。  
**問** レモンキャブは道路運送法の改正に伴い、骨折した場合などでは利用ができなくなる等の懸念があると聞くが状況は。  
**答** 同法改正により、福祉有償運送は運営協議会の登録制で運営されることとなったが、レモンキャブは平成二十年までは今までの運行が認められる。その後

## 衛生費

**問** こんにちは赤ちゃん事業の内容を問う  
**答** 新生児訪問事業、「こんにちは赤ちゃん事業」の内容は。  
**答** 虐待の防止・発見を目的に、これまで希望者のみだった訪問対象を全新生児とするものだ。  
**問** 平成十九年度は小金井市からごみを三百万トン受け入れるが、現在取り組み中の「武蔵野市ごみチャレンジ700」と矛盾しないか。  
**答** ごみの受け入れは、あくまでも緊急事態として決定した。  
**問** 介護保険の中に介護予防という概念が入ったが、こうした状況が見直されることも想定し、健康づくり支援センター事業は、介護保険における要支援1の方々の受け皿となるよう進めていくべきと考えるが見解は。  
**答** 今後とも、介護保険制度の見直しの有無にかかわらず、元気高齢者に元気なままで活躍していただく仕組みづくりを推進していく必要があると考える。

## 土木費

**問** まちづくり条例の基本的な考え方は  
**答** 現在策定中のまちづくり条例について、基本的な考え方を伺う。  
**答** まちづくり活動を助成するための仕組みづくり、都市計画における住民参加の仕組みの充実、開発事業等に関する手続等を条例の中に位置づけていく。  
**問** 吉祥寺駅南北自由通路整備計画について伺う。  
**答** 吉祥寺グラウンドデザインの中心でも南北自由通路整備の重要性をうたっており、JR、京王電鉄と、バリアフリーの視点を含め協議していきたい。  
**問** 自転車放置防止指導業務委託で業者の体制を変えたいとのことだが理由は。  
**答** 撤去、移送、保管及び返還を同じ業者が一括して行うことで、状況に応じた人員配置が可能となるためである。

## 総務費

**問** 市報の全戸配布、市民に影響はないか  
**答** 市報の全戸配布について、

## 農業・商工費

**問** 悪質商法被害の防止対策は  
**答** 悪質商法による被害が多発

も現時点でのサービスが継続できよう努力していきたい。  
**問** 新規事業である地域療育推進事業の内容を伺う。  
**答** 地域リハビリテーションの循環として、障害者への継続的な支援体制を整備するもので、子どもの発達に関する親の不安を軽減するために、乳児健診の段階から相談支援事業を充実させるものだ。

しているが、消費生活センターと関係機関との連携体制はどうなっているか。  
**答** 相談員が福祉施設等に出向き啓発活動を行うほか、日常的な警察との連携や専門機関の紹介等を行っている。また、警察、防犯協会、商店会との連携による、悪質商法被害防止キャンペーンの実施を予定している。  
**問** こうのとりベジタブル事業の、農業への理解、地産地消の推進という趣旨は理解するが、新生児だけを対象とした理由は。  
**答** 少子化が進む中、市民と農業者との触れ合いのきっかけとして、新しい命の誕生を祝うことに強いインパクトがあり、食と農の教育という観点からも、保護者に市内産の安全安心な野菜を知っていただくことが大切であると考える。



予算特別委員会の審査風景

# 予算特別委員会 審

**問** 住宅用火災警報器を設置する対象を伺う。

**答** 高齢者等の災害弱者を考慮しているが、具体的には現在検討中である。

**問** 地域防災計画の改定を、どのように進めていくのか。

**答** 耐震、耐火の促進、避難所の見直し、帰宅困難者対策、防災安全センター(仮称)の位置づけを明確にし、実効性の高いものにしたいと考えている。

## 消防費 住宅用火災警報器 設置対象は

### 消防費

**問** 耐震補強や改修等、今後学校の整備に必要とされる金額は。

**答** 学校の改築に四百六十三億円ほど必要となるほか、保全の費用が膨大となるため、改築する時期の分散化や、躯体の延命化を図る等、工夫が必要である。

**問** 少人数学級を市独自で実施する考えはないのか。

**答** 現状でも少人数単位の指導はあり、三十人学級実施に必要な教員の配置に要する財源

## 今後学校の 整備に要する費用は

### 教育費



島崎 義司 予算特別委員長

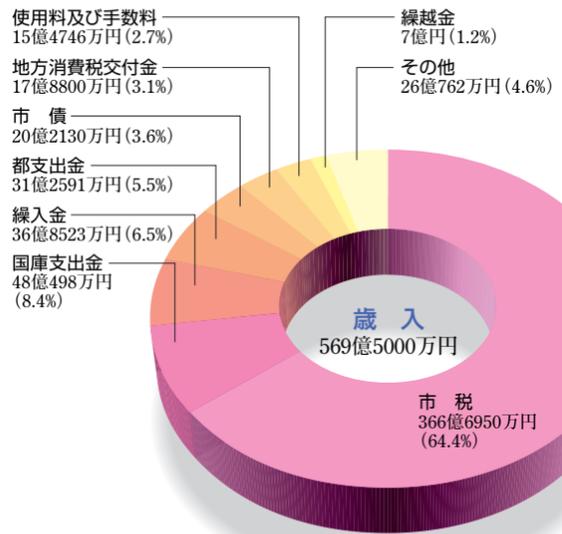
### 審査した特別委員

平成19年度予算審査に当たった特別委員の氏名は、次のとおり。

- ◎島崎 義司
- 小野 正二
- やすえ清治
- 田辺あき子
- 梶 雅子
- 本間まさよ
- 近藤 和義
- 大野まさき
- 松本 清治
- 砂川なおみ
- 川名ゆうじ
- 石井 一徳
- 与座 武
- 寺山光一郎

◎印 委員長 ○印 副委員長

## 一般会計歳入歳予算の内訳および



**問** 今後の下水道再整備にどのくらいの費用がかかるのか。

**答** 概算で四百億円程度かかる。具体的には、平成十九、二十年の二年間で策定する下水道総合計画で算出する予定である。

**問** 今後の水道施設の更新にどのくらいの費用がかかるのか。

**答** 概算で管網施設に百五十億円、浄水場施設に九十億円、井戸の掘り替え及び更生工事に四十億円など総費用で三百億円程度かかるかと積算している。

## 今後の下水道再整備にかかる費用は

### 各特別会計

**問** 特別支援教室の実施にあたり、一般の保護者や子どもたちへどのように周知していくのか。

**答** 保護者向けのパネルレットを配布し、講演会等を開催した。通常学級の子どもには担任や通級指導学級の教員が対応する。

**問** 中学校給食を、人件費等を公費負担で行なうと、弁当併用方式では弁当を選択する方に公費負担がなく不公平になるが、受益者負担についてどう考えるか。

**答** 誰もが中学校給食を受けられるという状態であれば、給食法にのっとり、受益者負担の考えをとることができるかと考える。

の問題は大きいため、市独自で実施することは考えていない。

**問** 体験活動検討委員会、現在のセカンドスクールについてどのような議論をしているのか。

**答** 四本の柱に整理したねらいをもとに、体験活動を充実させることや、実施地、実施期間について議論している。

**問** 学校の雨水貯留槽の設置工事に際し、校庭の使用団体等への対応は。

**答** 夏休み期間中グラウンド全面が使用できなくなるが、影響が少なくなるようにしたい。

3月27日の本会議で予算に対する各会派の賛否の討論が行われました。以下はその要旨です。このほかに、会派に属さない山本議員の⑤⑥に反対し、その他の予算に賛成する討論もありました。なお、各会派の構成を8面に掲載しております。予算特別委員会の詳しい内容を、会議録またはインターネット議会中継(アドレスを8面に掲載)でご覧いただけます。また、会議録は5月下旬以降、各市立図書館、コミュニティセンター、市役所の市政資料コーナーにおいて閲覧することができます。

## 予算に対する各会派の討論

- ① 平成19年度武蔵野市一般会計予算
- ② 平成19年度武蔵野市下水道事業会計予算
- ③ 平成19年度武蔵野市国民健康保険事業会計予算
- ④ 平成19年度武蔵野市老人保健(医療)会計予算
- ⑤ 平成19年度武蔵野市介護保険事業会計予算
- ⑥ 平成19年度武蔵野市水道事業会計予算

### 市議会市民クラブ

評価できる事業もあるが、市長の姿勢、市の組織体制には多くの問題がある

寺山光一郎議員

1 2 3 4 5 6 賛成

特殊勤務手当の大幅な削減、新生児訪問事業、少人数指導及び学習支援教室の推進など評価する。一方で、市長が公務に出席する際の会費を、飲食を伴うという理由で私費を支出していること、市民会議委員の進退に関わる問題の詳細の報告が市長になかったこと、市報の全戸配布が確実にできるのか不安が残ること等の問題を指摘しておく。「子どもとおとなの日本国憲法」の復刻版に一部差別的表現があったことについては、強く抗議する。

### 市議会公明党

市政の安定重視し予算に賛成 残された課題には真摯な対応を

小野正二議員

1 2 3 4 5 6 賛成

本市の財政は安定した高い水準を保ち、長期計画の優先事業の推進、内部努力による経費節減等、おおむね評価する。公明党が提案してきた安全施策、産前・産後ヘルパー制度の拡充等評価する。今後、中学生までの医療費無料化の更なる拡充、中学校給食実施の推進に期待したい。一方、市民会議委員の進退問題への不適切な対応、市報戸別配送の多くの課題、記述に問題を含む「子どもとおとなの日本国憲法」の復刻等の問題点を指摘する。

### 日本共産党武蔵野市議団

暮らしを守り 平和を発信する 予算を評価

本間まさよ議員

1 2 3 4 5 6 賛成

国政による市民に対する負担増、雇用破壊等が厳しい中、暮らしを守り平和を発信する市政へと変化が始まっている。国民健康保険税率を引き下げ、市民への説明会を実施すること、介護保険利用料助成の対象を拡大したこと、マンションの耐震診断助成費を増額したこと、「子どもとおとなの日本国憲法」を復刻すること、非核都市宣言25周年事業等を高く評価する。今後も、全国に先駆けて平和施策を前進させていくことを強く求め、賛成する。

### むさしのリニューアル

市独自の福祉施策、子育て支援策の充実に期待する

大野まさき議員

1 2 3 4 5 6 賛成

減災の観点から、民間住宅耐震診断の助成対象を分譲マンションにも拡大し、雨水貯留浸透施設設置等の浸水対策を進めること、市独自の障害者施策として、高齢者のリハビリテーションとの連携や地域療育の早期発見にもつながる保健師等による新生児全戸訪問、公立保育園幼児組への空調設備設置、長期休暇中の学童クラブ開所時間の繰り上げ等の子育て支援策の充実も評価し、予算案に賛成する。

### 民主・市民ネット

100%邑上色が出た予算 安全安心のため改修を

松本清治議員

1 2 3 4 5 6 賛成

19年度予算は邑上市長色が100%出ており、特に高齢者・障害者福祉を初め、市民の健康や子育て支援等、今までの割合よりも厚く福祉に配分している点の評価したい。また、市制施行60周年を迎え、本市に第2のインフラ整備時代が訪れようとしている中、今回の予算では公共施設の改修に取り組んでいく姿勢が見られた。「前人木を植え、後人涼を楽しむ」の精神で、しっかりと財政計画を立て、推進していただきたいと申し上げ、賛成する。

### 自由民主クラブ

政策的裏付け、市長のリーダーシップを求める

やすえ清治議員

1 2 3 4 5 6 賛成

何度も指摘されているが、邑上市政には政策的背景や裏付け、理念が欠如しており、重大な課題だと考える。平成19年度予算は、市民会議委員の辞任、検討が不十分な中での市報・市議会だよりの配布方法変更、差別的な表現を含む「子どもとおとなの日本国憲法」復刻版の配布等、問題もあったが、私立幼稚園入園料補助金の増額、浸水対策、上水道・公共下水道耐震化工事、特勤手当の大幅削減等、評価すべき点もあり、全体としては賛成する。

# 一般質問

第1回定例会で3日目、4日目の2月28日、3月1日に市政全般について、13名の議員から一般質問が行われました。この中から質問項目を要約して掲載します。詳しくは、各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所の市政資料コーナーに置いてある会議録(5月下旬発行予定)、または武蔵野市議会ホームページの会議録検索(第1回定例会分は5月23日登録予定)、インターネット 議会中継(アドレスは8面に掲載しています)でご覧いただけます。



※一般質問とは、議員がその属する地方公共団体の行政全般にわたり、執行機関に対し、事務の状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告を求め、または疑問を質すことをいいます。

## 吉祥寺グランドデザイン 今後のまちづくりに期待

井口良美議員

**問** 吉祥寺グランドデザインについて、解決すべき課題として、①荷さばき対策②吉祥寺大通り等の地下空間の体系的な活用③吉祥寺駅南北自由通路計画があるが、今後どのように進めていくのか。

**答** ①荷さばき実証実験の結果を踏まえ、今後も継続して検討する②荷さばき空間や自転車駐車場として具体的に利用が可能かどうか議論を進める③JR、京王電鉄との調整が必要であり、覚書を締結したい。

このほか、大型店出店計画への対応、武蔵野吉祥七福神めぐり、子育て世帯対象の住宅支援制度、市職員の個人情報記録紛失等の質問がありました。

## ベビーボーナス 工夫して支給を

金子 武議員

**問** ベビーボーナスの支給について、例えば第1子は支給しないが第2子は支給し、第3子は増額して支給するなどの工夫が必要と考えるがいかがか。

**答** このような手当は国のレベルで全国一律に実施するのが適当であり、一つの自治体の取り組みでは難しいと考えている。

**問** 本市では給食費の不払いがどれだけあるか。

**答** 本市では、全国で問題になっているような不払いのケースはなく、ほぼ100パーセントの徴収率となっている。

このほか、生活保護制度についての質問がありました。

## 「誇り高き武蔵野」を 市民と実現するために

松本清治議員

**問** 市制施行60周年のこの機に上下水道・公共施設の改修を図ってほしい。市民にその必要性を説明し、理解を得ながら未来への責任を果たすべきと考えるがいかがか。

**答** 早期に整備された社会基盤のリニューアルが今後の大きな課題である。基盤の再整備を行い、これからの時代の礎としたい。

**問** 減税補てん債は国からの高利の借金で、平成38年度まで利子を含めて161億6680万円を償還しなければならない。市民にきちんと説明し、検証すべきではないか。

**答** 平成6年当時、減税補てん債を借りないと予算編成が困難との判断があった。今後も市民に丁寧な説明をしていきたい。

## 構造に問題ある シルバー人材センター 市報宅配に疑問

大野まさき議員

**問** シルバー委託による市報全戸宅配について、①従来の新聞折込よりコスト増となるがそれでも意義はあるのか②配布員の調整等シルバー体制に問題があると聞くが。

**答** ①印刷・配布部数増によるコスト増はあるが、単価に大差はない。市の基本的情報を市が責任を持って全戸に配布することは極めて重要である②会員相互の理解を得ながら配布実施に向け調整中とのことだ。

**問** 市民が積極的にまちづくりに参加できる仕組みづくりが必要ではないか。

**答** 市と住民が共有ビジョンを持ち、それに向けてまちづくりを進めることが重要だ。まちづくり条例でこれを検討したい。

## 生活保護世帯、高齢者・障害者世帯などへ格差を ただす取り組みの強化を

山本ひとみ議員

**問** 母子加算廃止の動きに対し、国に反対意見を提出すべきと考えるが、市の見解は。

**答** 自立母子世帯との公平性の観点から、ひとり親家庭の自立につながる施策を目指すものであり、反対意見提出の考えはない。

**問** 障害者自立支援法施行後、全国的に施設の退所・利用抑制が問題となっているが、市では実態調査を行ったのか。

**答** 利用者の認定調査、事業者との意見交換等を実施した。現在の実績からみて、利用抑制はないと考える。

このほか、法政跡地問題、武蔵野プレイス(仮称)の見直し等についての質問がありました。

## 教育支援センターと 連携した特別支援教育の充実を求める

土屋美恵子議員

**問** 平成19年度から開始される、学習面・行動面で特別な配慮が必要な児童・生徒に対する特別支援教育を、十分に機能させる必要がある。どのような実施方法を考えているか。

**答** 情緒障害通級学級と在籍校との連携、専門家スタッフ、サポートスタッフの派遣、教育支援センターの派遣相談の充実等、できる限りきめ細かな対応を目指したい。

**問** 支援を必要とする児童・生徒に対する周りの友達、保護者の理解が大切であると考え。どのような対策をとっているか。

**答** 保護者会での説明、講演会の実施、リーフレットの作成・配布等を行っている。

## あそべえ「留守家庭の子ども対策」充実を

田辺あき子議員

**問** 国の発表した放課後子どもプランを踏まえ、①地域子ども館あそべえと学童クラブを今後どう連携させていくのか②留守家庭の子どもへの安全な居場所として、あそべえの機能を充実させる必要があるのでは。

**答** ①あそべえは国の補助基準の対象外となるが、これまで通り実施していく②基本的には学童クラブの役割と考える。

**問** 狭い歩道や土手上に設置された危険なバス停の改善策を図るべきと考えるが。

**答** 今後関係機関と調整し、ユニバーサルデザインの観点から危険箇所を改善する。

このほか、防災対策の強化、スポーツ広場の増設等の質問がありました。

## 生涯スポーツ社会の 環境づくりのために

桑津昇太郎議員

**問** 生涯スポーツ社会の環境づくりの観点から、①スポーツ振興計画策定の構想や具体的な手順は②AEDの講習会を学校等の施設利用者を対象に行うべきでは③中央、西地区、東地区の3圏に地区体育館もしくはスポーツ広場を整備することについて伺う。

**答** ①意識調査をもとに、市民ニーズに合わせた計画を策定したい②前向きに取り組むを検討する③大きな予算を必要とするため、第四期長期計画調整計画やスポーツ振興計画を策定する中で議論したい。

このほか、健康づくり支援事業の民間スポーツクラブ等との連携、武蔵川公園の試行開園後の状況等の質問がありました。

## 市民との協働の拠点づくり 市は既存施設の再活用を

川名ゆうじ議員

**問** 市民との協働において、拠点の確保が重要であり、公共施設の余裕スペースや学校、空き店舗等、既存の施設を再活用していくべきと考えるが、市の考えは。

**答** 市が拠点を確保していくことも必要であるが、地域でのさまざまな活動の中で、利用場所を工夫していただきたい。

**問** 西部図書館の廃止後の利用について、図書室の機能を残すことを考えるなど、図書館の3館構想にこだわらない、全市的な図書館・学校図書館・図書室のネットワークをつくっていくべきではないか。

**答** 西部図書館のあり方については、今後の調整計画等の中でご議論いただきたい。

## 市長は将来に対する 明確なビジョンを

やすえ清治議員

**問** 市長にとって長期計画調整計画市民会議などの市民参加は目的なのか手段なのか。市民参加の先にある、具体的な計画のビジョンを、まず示すべきではないのか。

**答** 市民参加は目的ではない。目的に合った市民参加の方法を工夫していきたい。

**問** 吉祥寺東地区の住民説明会の中で、市民から職員に対する誹謗中傷と思われる発言があったが、市長は何ら対応しなかった。市長が組織の長として、毅然とした対応をとらなければ、市民や職員の信頼を失うことにつながるのではないかと。

**答** 予想外の事態に対応できず、反省している。今後きちんと判断していきたい。

## 高齢者の緊急通報システム 周知の徹底を

小野正二議員

**問** ひとり住まいの高齢者や高齢者世帯が増加しているが、①現状把握をどのように行っているか②緊急通報システムである「ペンドラントプザー」の貸与状況を伺う③システムの周知をどのように行っているか④全高齢者にプザーの貸与ができないのか。

**答** ①4年に一度の独居高齢者の実態調査や民生委員の自宅訪問等による②現在消防庁方式55台、民間受信センター方式55台の計110台だ③高齢者サービスの手引き「いきいき」への掲載、75歳以上の方への直接の事業案内、在宅介護支援センターでの相談等で周知している④貸与のコストや対応体制から全高齢者への貸与は難しい。

## 深刻な保育園待機児 早急な対策を

向谷千鳥議員

**問** 平成19年度の保育園入所申込者数が昨年度に比べて大きく増加している。特に3歳児は入所可能数の3.59倍と非常に高く、2歳児までしか在園できない認可保育所等を卒園後の入所が困難となっている。保護者の就労そのものを脅かす深刻な事態だが、現状と対策について市の見解を伺う。

**答** 3歳児については、2歳までの認証保育所の増加が原因と考える。すべての待機児の解消は難しいが、一人でも多くの要望にかなうよう、定員弾力化等の運用で努力していきたい。

このほか都営住宅の使用承継制度見直し、三鷹駅北口地区開発等の質問がありました。

## 安心して歩けるパークロードに

梶 雅子議員

**問** 吉祥寺駅南口のパークロードを安心して歩けるようにするために、①歩行者専用道路にすることをバス会社と協議できないか②置き看板を規制する抜本的な対策を検討できないか③改修計画はあるのか。

**答** ①南口暫定広場を整備しないと根本的に解決しないが、パークロードに入る台数を減らす工夫をバス会社と協議したい②武蔵野市にふさわしいルールづくりを検討したい③地下埋設物の補修・改修を必要とする企業に平成20、21年度中に工事を実施してもらい、その後全面改修工事を行いたい。このほか、粗大ごみの収集方法の改善等の質問がありました。

## 2 特別委員会最終報告

鉄道対策・農水省跡地利用特別委員会と外環道路特別委員会は平成19年3月定例会最終日までを設置期限として、それぞれ三鷹・立川間連続立体交差事業及び農水省跡地利用計画、外かく環状道路について審査を続けてきたが、3月27日の本会議でこれまでの活動の報告を行った。両委員会は継続審査案件もあり、平成19年4月末日まで設置期限を延長することとなった。

### 鉄道対策・農水省跡地利用特別委員会報告 (平成17年6月～平成19年3月)

#### 【設置経過】

農水省跡地利用計画の検討、JR中央線の三鷹駅以西の高架複々線問題や高架下に付随する問題の解決、農林水産省食糧倉庫跡地の利用計画等を審査するため、平成15年6月に設置され、平成17年6月に設置期限を平成19年3月まで延長した。

#### 【事業の状況と特別委員会の活動】

鉄道事業に関しては、駅周辺工事及び自由通路の切りかえ工事が順調に進み、西武多摩川線が駅舎の一部とJR中央線との接続部の工事を残し、高架化した。この間、工事現場の視察、市担当部課長を招いて勉強会を開催した。

農林水産省食糧倉庫跡地の利用については、平成

17年3月に農水省跡地利用施設建設基本計画、同年11月に基本設計が委員会に報告された。10月に当選した邑上新市長は、施設規模や内容に関してオープンハウスを実施し、平成18年2月に武蔵野プレイス(仮称)基本計画の見直し案を提案した。ところが、この見直し案の内容や3月の委員会で配付した資料の取り扱い等をめぐり、平成18年度一般会計予算案が否決される事態となり、市長は見直し案を撤回し、武蔵野プレイス(仮称)専門家会議を設置した。12月には同会議の中間のまとめについての報告があり、同会議委員との懇談会を行った。平成19年3月には、専門家会議の最終報告書が提出された。また、アカデミーヒルズ六本木ライブラリー、日野市立図書館、成蹊大学情報図書館等の視察を行った。陳情審査は、旧農水省跡地利用計画について市民への説明会開催に関する陳情等6件を審査した。

#### 【今後について】

平成19年春に予定されているJR中央線東区間下り線の高架化や、新駅舎、高架下の利用等について、また武蔵野プレイス(仮称)の施設の運営主体や実施設計など、引き続き検討を重ね慎重に見守る必要がある。



武蔵野駅南口完成予想図

### 外環道路特別委員会報告

(平成17年6月～平成19年3月)

#### 【設置経過】

昭和41年に発表された外郭環状道路建設計画に対して、本市では昭和42年に外環道路反対特別委員会を設置し、継続して反対運動を行ってきた。その後、平成15年3月に国、都から大深度地下方式での建設方針が公表されたことに伴い、同年9月、外環道路について調査・検討を行うことを目的として、本特別委員会が設置され、さらに平成17年6月には、設置期限が平成19年3月定例会最終日まで延長された。

#### 【この間の国、都の動き】

平成17年9月、国と都は、外環道路の具体化に向けた

考え方を公表し、平成18年6月には、構造形式を高架式から地下式に変更する都市計画変更案が公告された。

#### 【本特別委員会の活動】

本委員会は、外環道路について調査・検討を重ねるとともに、国、都の担当者との意見交換、むさしの地区外環問題協議会、PI外環沿線会議委員との懇談会を実施した。

平成18年12月、外環計画に関する具体的な対策、情報の公開、外環の2(地上部街路)の問題の解決等を求める「都市計画道路外郭環状線に関する意見書」を委員全員により提出し、同月20日の本会議において全会一致で可決され、同月27日国・都へ提出された。

#### 【まとめ】

このたびの都市計画変更案は、地盤や地下水への

影響、災害や事故発生時の対応など、現時点では検討を要する課題も多く、また、外環の2の方向性についてはいまだ不透明で、地域住民の不安が拭き取られていない。市民の良好な生活環境の維持、沿線住民の安全確保のため、改選後の議会においても引き続き計画の調査・検討を市、住民と進めていく必要がある。



平成18年12月、むさしの地区外環問題協議会との懇談会を開催

## 「議会改革」検討結果について(報告)

本市議会では、議会運営の迅速化・効率化と、市民の皆様に分かりやすい議会を目指して、平成17年度より、議会運営委員会、各会派代表者会議、議会広報委員会を合計59回開催し、124項目にのぼる議会改革の検討を行ってまいりました。このたびすべての検討を終えましたので、主な結果についてお知らせいたします。

### 1 議員定数が削減されました。

平成18年12月20日に議員提出議案「武蔵野市議会議員定数条例の一部を改正する条例」が賛成多数で可決され、20年ぶりに議員定数が30名より26名へ削減されました。新しい定数は平成19年4月22日執行の市議会議員選挙より適用されました。

### 4 「寄付行為にかかる申し合わせ」を行いました。

市の公式的な行事への祝電等を含む寄付行為等が禁止されていることを改めて確認しました。

### 2 市政調査研究費の収支報告書には、領収書等の写しの添付を義務付けました。

武蔵野市議会市政調査研究費の交付に関する条例施行規則を改正、あわせて収支報告書の変更を行いました。平成18年度分より実施しています。

### 5 市議会インターネット中継が拡大されました。

平成18年9月より本会議のすべてと予算・決算特別委員会の会議内容(生中継・録画中継)を、市議会ホームページ上でご覧いただけます。

### 3 議長・議会交際費をホームページ上で公開することを決めました。

交際費の使途基準を定めた上で、平成18年4月よりホームページ上で支出状況を公開しています。

### 6 請願・陳情の押印がなくても、請願・陳情者の署名により提出できるようになりました。

武蔵野市議会会議規則を改正し、平成19年4月1日より適用しています。

### 第一回定例会で可決された意見書・決議は二件で、意見書については政府へ提出されました。

**JR不採用問題の早期解決に関する意見書**

昭和六十二年の国鉄分割・民営化に際し、JR各社で発生した職員の不採用問題は、東京都地方労働委員会命令を含め、各地方労働委員会、中央労働委員会が不当労働行為と認定し、救済命令を発したが、平成十五年十二月に最高裁第一小法廷は、JRには責任を問えないとしてこれを取り消した。法的には一定の決着がついたものの千四十七名の不採用問題は解決されないまま今日に至っている。平成十六年六月にはILO(国際労働機関)より日本政府に対し、「問題解決のため、政治的、人道的精神に基づき、すべての関係者との話し合いを推進するよう勧める。」との六度目の勧告が出されたことなど、問題発生から二十年近くが経過し、当時の職員も高齢化しているため、人道的見地に立って速やかに問題解決を図ることが必要である。

### 意見書

#### 政府への

よつて武蔵野市議会は、国会及び政府に対し、早期解決に向け関係者に働きかけるなど二層努力するよう強く要請する。

(衆議院・参議院議長、内閣総理・総務・厚生労働・国土交通大臣あて)

### 決議

#### 議案第二十五号平成十九年度武蔵野市一般会計予算に関する付帯決議

シルバー人材センターへ市の業務を委託し、高齢者の就労支援を充実することを望むが、現況において、市報・議会だより等の配布方法の変更は、市民への市政情報提供に混乱が生じるおそれがあると強く懸念する。当局においては、このことを十分考慮し、遺漏なく万全の体制で臨み、配布に問題が生じたときは、直ちに元の配布方法に戻すこと。

## 本市における市政調査研究費の概要をお知らせします。

政務調査費(本市では市政調査研究費)は、議員の調査研究活動の充実強化、地方議会の活性化を図るために地方自治法で定められた制度で、本市では、条例・規則により交付額や使途基準が以下のとおり規定されています。

- **交付額について**  
議員1人当たり月額4万円(年額48万円)です。
- **使途基準について**  
市政に関する調査研究に必要な経費以外の支出は認められません。本市議会では、平成19年4月に、支出の透明性をさらに高めるため、支出が認められない経費を明文化する等、規定の改正を行いました。
- **支出が認められない経費**  
交際費、政党・後援会・選挙活動に要する経費、飲食に要する経費(先進地調査等の宿泊費に含まれるものを除く)、私人としての活動に要する経費
- **視察報告書の提出について**  
市政調査研究費により視察を行った場合は、調査報告書を提出しなければなりません。
- **領収書等の提出について**  
年度終了時には、領収書等の写しを添付して収支報告書を提出しなければなりません。残金がある場合、返還する必要があります。

### 会派名簿

会派とは、市政について、同じような考えや意見を持っている議員のグループで、議会活動の1つの基盤となります。平成19年4月30日をもって任期満了となります。(氏名は議席番号順、電話番号は会派控室(市役所7階)の直通電話番号です)

<b>自由民主クラブ</b> TEL 60-1884	<b>市議会公明党</b> TEL 60-1887
やすえ 清 治 きくち 太 郎 島 崎 義 司 近 藤 和 義 鈴木 有 臣 田 中 節 男 井 口 良 美 石 井 一 金 子 武	小林 清 章 小 野 正 二 田 辺 あ き 子
<b>民主・市民ネット</b> TEL 60-1889	<b>日本共産党武蔵野市議団</b> TEL 60-1888
松 本 清 治 砂 川 な お み 川 名 ゆ う じ 深 沢 達 也 露 木 正 司 水 野 学	梶 雅 子 向 谷 千 鳥 本 間 ま さ よ
<b>市議会市民クラブ</b> TEL 60-1885	<b>むさしのリニューアル</b> TEL 60-1890
山 下 倫 一 土 屋 美 恵 子 与 座 武 桑 津 昇 太 郎 寺 山 光 一 郎	三 宅 英 子 大 野 ま さ き
<b>無会派議員</b> TEL 60-1886	<b>無会派議員</b> TEL 60-1909
桜 井 和 実	山 本 ひ と み

議会だよりへの御意見、御要望をお聞かせ下さい。

TEL 0422-60-1883  
メールアドレス OFC-GIKAI@city.musashino.lg.jp  
市議会ホームページ http://www.city.musashino.lg.jp/cms/gikai/

「武蔵野市議会だより」は本号より全戸配布  
「武蔵野市議会だより」は、これまで新聞折込でしたが、本号より全戸配布となります。

## 議案等審議結果(議決)一覧

- ### 第1回定例会
- 【市長提出議案(36件)】
- 武蔵野市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について……………同意(全会一致)  
\*任期満了となる委員の後任として、伊藤哲郎氏の選任について、市議会の同意を求めるもの。
  - 武蔵野市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について……………同意(全会一致)  
\*井出多加子氏の任期満了に伴い、再任の同意を求めるもの。
  - 武蔵野市功労者表彰条例の一部を改正する条例……………可決(全会一致)
  - 武蔵野市副市長定数条例……………可決(全会一致)
  - 武蔵野市職員定数条例の一部を改正する条例……………可決(全会一致)
  - 武蔵野市選挙管理委員会事務局職員定数条例の一部を改正する条例……………可決(全会一致)
  - 武蔵野市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例……………可決(全会一致)
  - 武蔵野市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例……………可決(全会一致)
  - 武蔵野市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例……………可決(全会一致)
  - 武蔵野市市税条例の一部を改正する条例……………可決(全会一致)
  - 武蔵野市手数料徴収条例の一部を改正する条例……………可決(全会一致)
  - 武蔵野市国民健康保険条例の一部を改正する条例……………可決(賛成多数)
  - 武蔵野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例……………可決(全会一致)
  - 武蔵野市下水道条例の一部を改正する条例……………可決(全会一致)
  - 武蔵野市消防団に関する条例の一部を改正する条例……………可決(全会一致)
  - 東京市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約……………可決(全会一致)
  - 湖南衛生組合規約の一部を改正する規約……………可決(全会一致)
  - 負担付きの贈与を受けることについて……………可決(全会一致)
  - 東京簡易裁判所平成17年(ノ)第1307号遺言無効確認等請求調停申立事件に係る和解について……………可決(全会一致)
  - 平成18年度武蔵野市一般会計補正予算(第4回)……………可決(全会一致)
  - 平成18年度武蔵野市下水道事業会計補正予算(第1回)……………可決(全会一致)
  - 平成18年度武蔵野市国民健康保険事業会計補正予算(第2回)……………可決(全会一致)
  - 平成18年度武蔵野市老人保健(医療)会計補正予算(第2回)……………可決(全会一致)
  - 平成18年度武蔵野市介護保険事業会計補正予算(第2回)……………可決(全会一致)
  - 平成19年度武蔵野市一般会計予算……………可決(全会一致)
  - 平成19年度武蔵野市下水道事業会計予算……………可決(全会一致)
  - 平成19年度武蔵野市国民健康保険事業会計予算……………可決(賛成多数)
  - 平成19年度武蔵野市老人保健(医療)会計予算……………可決(全会一致)
  - 平成19年度武蔵野市介護保険事業会計予算……………可決(賛成多数)
  - 平成19年度武蔵野市水道事業会計予算……………可決(全会一致)
  - 職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部を改正する条例……………可決(全会一致)
  - 武蔵野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例……………可決(全会一致)
  - 平成19年3月における武蔵野市議会議員の期末手当に関する条例……………可決(賛成多数)
  - 平成19年3月における武蔵野市特別職等の職員の期末手当に関する条例……………可決(賛成多数)
  - 平成19年3月における武蔵野市一般職の職員の期末手当に関する条例……………可決(賛成多数)
  - 武蔵野市長等に支給する給料の特例に関する条例……………可決(全会一致)
- 【議員提出議案(4件)】
- 議案第25号平成19年度武蔵野市一般会計予算に関する付帯決議……………可決(賛成多数)
  - 武蔵野市議会委員会条例の一部を改正する条例……………可決(全会一致)
  - 武蔵野市議会会議規則の一部を改正する規則……………可決(全会一致)
  - JR不採用問題の早期解決に関する意見書……………可決(賛成多数)

## 陳情 審議結果

- **意見付添い採択**
- 吉祥寺東町2丁目全域とその周辺ゾーンの小路の抜本的な交通対策に関する陳情(※)
  - 横河武蔵野FCと武蔵野市との連携・支援に関する陳情
- **継続**
- 「浜岡原発震災」における子どもと妊婦のための放射能災害対策に関する陳情
  - 武蔵野市長が内閣総理大臣に、「市民の生命を守るため一刻も早く浜岡原発全基を止めよ」の要請書を提出することに関する陳情
  - 武蔵野ブレイス(仮称)建設計画の事業費及び維持管理費の節減に関する陳情
  - 境南町2丁目の公園に関する陳情
  - 地域包括ケア体制確立に関する陳情
  - 市議会、市役所にかかわる追加費用の公表に関する陳情
  - 市議会本会議における議員の質問・討論の制限に関する陳情
  - 療養病床の廃止・削減計画の凍結と見直しに関する陳情
  - 子どもの医療費助成を義務教育終了時まで拡大することに関する陳情
  - 新議会での外環道路特別委員会の設置に関する陳情
- (※は継続審査となつていたもので、)

## インターネット議会中継をご覧いただけます

現在、平成18年9月定例会以降の本会議、決算特別委員会、予算特別委員会の模様を録画中継でご覧いただけます。また、市議会議員選挙後、初めての臨時会本会議(5月開催予定)、6月定例会本会議の生中継を配信する予定です。なお、録画中継は、生中継終了後3日程度(土・日・休日を除く)でご覧いただけます。

武蔵野市ホームページから → 市議会 → インターネット中継 の順にクリックしてください。

インターネット議会中継ホームページ <http://www.musashino-city.stream.jfit.co.jp/>

## 1面写真募集要領 次回の締切5月14日

- **規 格** : 六つ切(紙焼き)、カラー。二重応募(他のコンテスト等に応募した作品の応募)は禁止、未発表・未公開のオリジナル作品に限ります。写真は編集上、トリミングすることがあります。また、応募された作品は、返却いたしませんのでご了承ください。
- **内 容** : 武蔵野市内の風景(明らかに人物を特定できる場合は、ご本人の了承を得てください)。
- **審 査** : 議会広報委員会が審査します。
- **発 表** : 採用された作品は、6月15日発行の市議会だよりに掲載します。\*賞品等はありませんのでご了承ください。
- **著 作 権** : 作品の著作権は製作者本人に帰属します。ただし、6カ月間、他媒体での発表等をご遠慮いただくことを、作品採用の条件といたします。
- **期 限** : 5月14日(月)当日消印有効
- **添付書類** : 撮影者の住所・氏名・年齢・電話番号・撮影年月日・撮影場所・作品名を写真裏面に記載し、郵送にてご応募ください。なお、採用された場合、後日作品のコメントをいただくことがあります。
- **宛 先** : 〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 武蔵野市議会事務局 市議会だより係
- **問い合わせ** : ☎0422-60-1883